

## 喫煙の現状と対策

後藤 正幸研究室

0232023 今井 峻

### 1.研究目的

たばこの煙には多くの構成成分が含まれており、その中には発がん性物質をはじめとした多くの有害物質が含まれている。喫煙者の全死亡のリスクは非喫煙者と比べ2倍以上高く、喫煙と関連した疾患により死亡されたと推定された人数は、自動車事故による死亡者数を大きく上回ると報告されている。このように、喫煙による健康への影響を示すさまざまな証拠が明らかになっており、わが国でも喫煙者のたばこ消費を抑制する対策を早急に立案すべきである。しかし、人によって喫煙する理由は様々であり、それらの理由を考慮した上で対策を立てるべきであると考えられる。本研究では、たばこに関するレビューが集まるロコミサイトから、喫煙者の意識をテキストマイニングを用いて把握する。

本研究の研究手順は以下の通りである

- ①日本の喫煙状況を把握する
- ②喫煙対策の事例と効果を把握する
- ③、①と②を基にロコミサイトから喫煙者の意識を把握する。

### 2.喫煙の状況

この項では、調査によって明らかにされた国民の喫煙に対する意識を分析する。1983年以降、政府支持率調査などの世論調査に付随した形で行われているたばこについての世論調査によると、回答者自身の喫煙率、喫煙量ともに大きな変化は見られないが、公共の場における喫煙に関する項目では、他人の喫煙を迷惑と感じている人の割合が増えている。

また、女性の喫煙が増えたかどうか、未成年者の喫煙が増えたかどうか、という質問に対しては、どちらについても「増えた」と回答している人の割合が高かった。このことから、女性の喫煙と未成年者の喫煙が増加していると認識している国民が多いことがわかった。

一方、厚生労働省の調査によると、平成15年から平成19年にかけて、習慣的に喫煙している者の割合は、男性では最近になるにつれ減少傾向にあり、女性においてはほぼ横合いに1割程度であることがわかる。

### 3.喫煙対策の事例と効果

2005年2月27日世界保健機構(WHO)により発行された、「たばこ規制枠組み条約」にはわが国を含む多くの国が署名している。この条約ではたばこによる健康被害を抑えるためのさまざまな規定がなされている。

現在、喫煙が及ぼす健康被害についての教育や法規制がなされており、たばこ価格の引き上げや、警告文表示、禁煙指導、健康教育などのさまざまな喫煙対策が取られている。

価格引き上げによるタバコ消費に対する影響については、物価や収入の増加率を超えてたばこの価格が上昇した場合消費量は減少し、特に未成年者や収入の低い層のたばこ消費の抑制につながると報告されている。

日本では「喫煙は、あなたにとって心筋梗塞の危険性を高めます。疫学的な推計によると、喫煙者は心筋梗塞により死亡する危険性が非喫煙者に比べて約1.7倍高くなります。」などの8種類の警

告表示のうちいずれかをパッケージに表示することが義務付けられている。これは「たばこ規制枠組み条約」の規定のひとつである。タイ、カナダ、オーストラリアではたばこ広告の禁止とたばこのパッケージに写真などを利用した視覚に訴えかける大きな警告表示（図1）を義務付けている。

また、現在では喫煙習慣を改善するために、喫煙者に対する禁煙指導が盛んに行われている。喫煙指導を行った場合と行わない場合を比べると、禁煙指導を行った場合の方があきらかに禁煙率を増加させる結果になっている。わが国において進められている禁煙防止教育では、喫煙の健康被害に関する知識だけでなく、青少年の喫煙開始に関わる社会的要因に対処するための教育がなされている。



図1 たばこの警告表示（オーストラリア）

### 3.web 掲示板における喫煙に対する意識調査

#### 3.1 分析方法

e-まちタウン口コミ掲示板上のトピック、「タバコ、吸っていますか？」<sup>1)</sup>から、サンプルとして発言を抽出し、テキストマイニングツール「Text Mining Studio」を使用し分析する。

①抽出した発言のうち出現頻度の高い単語を分析する。

②単語「禁煙」を注目語とし、どのように使われているか、どういった単語と同時に出てくるのか

を分析する。

③抽出した単語同士の関連性の強さをネットワーク図で表示し、抽出した文章の中での話題を把握する。

#### 3.2 分析結果

①最も出現頻度が高いのは「吸う」、次に「吸う+ない(吸わない)」となっており、以下「タバコ」、「やめる」、「禁煙」と続いた。(図2)

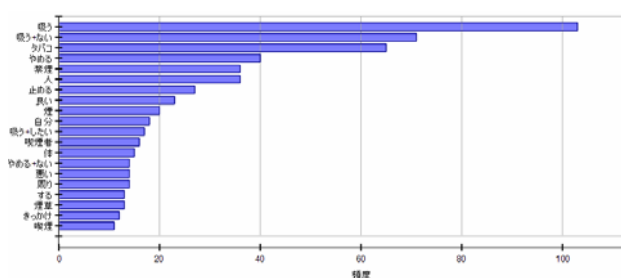


図2 出現頻度の高い単語

②「はじめる」「病気」「止める+したい」などの単語と同時に使われる場合が多く、喫煙による健康被害と禁煙の必要性が認識されていることがわかった。

③「興味本位」「ストレス」「ストレス解消」などの喫煙に対する動機や、「禁煙ブーム」「1ヶ月」「3割」「7割」といった禁煙についての議論がされていることがわかった。

#### 5.結論

本研究では、喫煙対策の現状と対策を調査するとともに、「Text Mining Studio」を使用したテキストマイニングにより web 掲示板における喫煙に対する意識を調査した。本研究では特定の掲示板の1つのトピックを対象とし分析したが、より精度の高い結果を得るには、さらに対象を広げ研究を進める必要がある。

<sup>1)</sup>e-まちタウン口コミ掲示板  
<http://www.emachi.co.jp/kuchikomi/>(2009/01/15)